

特別展

# 地図最前線

—紙の地図から  
デジタルマップへ—

2022

7月16日(土)→9月25日(日)

前期 7月16日(土)～8月14日(日)

後期 8月16日(火)～9月25日(日)

会期中に作品・資料の展示替を行います。



地図の銅版彫刻（1932年、当館所蔵）



神奈川県立歴史博物館  
Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

【開館時間】9時30分～17時（入館は16時30分まで）

【休館日】毎週月曜日（7月18日、9月19日は開館）

【観覧料】一般900円(800円)、20歳未満・学生600円(500円)

65歳以上200円(150円)、高校生100円(100円)

※( )内は20名以上の団体料金、中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方は無料

※前期有料観覧券の半券提出による割引制度あり

※神奈川県立の美術館・博物館有料観覧券の半券提出による割引制度あり

【交通】みなとみらい線「馬車道駅」3・5番出口から徒歩1分

JR「桜木町駅」新南口(ICカード専用)から徒歩5分 市営地下鉄「関内駅」9番出口から徒歩5分

Tel: 045-201-0926 / Fax: 045-201-7364

感染防止対策として、入場制限を行う場合があります。

【主催】神奈川県立歴史博物館  
【協力】宇宙航空研究開発機構、海上保安庁、国土地理院、東芝未来科学館  
産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地質標本館  
【後援】一般財団法人地図情報センター、一般財団法人日本地図センター、馬車道商店街協同組合  
歴史地理学会、神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞横浜支局  
産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、  
共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、NHK横浜放送局、tvk(テレビ神奈川)  
ラジオ日本、FM30.7、J-COM



芸術文化振興基金

この展覧会は、芸術文化振興基金助成事業の助成を受けたものです。

# 特別展 地図最前線

—紙の地図からデジタルマップへ—



神奈川県立歴史博物館  
Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

【主催】神奈川県立歴史博物館

【協力】宇宙航空研究開発機構、海上保安庁、国土地理院、東芝未来科学館

産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地質標本館

【後援】一般財団法人地図情報センター、一般財団法人日本地図センター、馬車道商店街協同組合

歴史地理学会、神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞横浜支局

産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、

共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、NHK横浜放送局、tvk(テレビ神奈川)

ラジオ日本、FM30.7、J-COM

この展覧会は、芸術文化振興基金助成事業の助成を受けたものです。



芸術文化振興基金

2022

7月16日(土)→9月25日(日)

前期 7月16日(土)～8月14日(日)

後期 8月16日(火)～9月25日(日)

会期中に作品・資料の展示替を行います。

【開館時間】9時30分～17時（入館は16時30分まで）

【休館日】毎週月曜日（7月18日、9月19日は開館）

【観覧料】一般900円(800円)、20歳未満・学生600円(500円)

65歳以上200円(150円)、高校生100円(100円)

※( )内は20名以上の団体料金、中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方は無料

※前期有料観覧券の半券提出による割引制度あり

※神奈川県立の美術館・博物館有料観覧券の半券提出による割引制度あり

【交通】みなとみらい線「馬車道駅」3・5番出口から徒歩1分

JR「桜木町駅」新南口(ICカード専用)から徒歩5分

市営地下鉄「関内駅」9番出口から徒歩5分

Tel: 045-201-0926 / Fax: 045-201-7364

感染防止対策として、入場制限を行う場合があります。

5千分1東京図「東京中部」銅原版（1886年、国土地理院所蔵）

# 地図 最前線

一紙の地図から  
デジタルマップへ

カールバンベルヒー等経緯儀  
国土地理院所蔵



地図を愛用した電気技術者  
岸敬二郎  
根岸調査局所蔵



地図印刷の先駆者  
岩橋教章 当館所蔵

# 前期の最前線 この細かさを見よ！

7月16日(土)～8月14日(日)

地図印刷技術者  
岩橋教章と章山 親子2代で地図作り



横浜実測図  
1881年 根岸調査局所蔵

人類は様々な方法で世界の姿を捉え、表現してきました。その営みを記録するのが、地図です。日本では、江戸時代に木版刷りの地図が広く流通するようになり、明治時代以降は銅版をはじめとする印刷技術の展開を受けて地図の表現が多様化しました。そして、今日ではインターネットを通じて世界に発信されるデジタルマップが人々の生活に不可欠なものになっています。本展では、主に近現代の「紙の地図」に焦点を当て、地図を作り、地図を使った人たちの活動に迫ります。

地図印刷技術の転換期にあたる19世紀末から20世紀初頭に活躍した岩橋教章・章山親子。今から90年前に神奈川県のパノラマ絵図を描いた吉田初三郎。芝浦製作所の技術者で水力発電開発のために地図を愛用した岸敬二郎。これらの人たちに関する館蔵品に加え、神奈川に留まらず各地の地図資料を展示します。紙からデジタルへと地図のかたちが移りかわりゆく現代社会において、地図と人の歩みを考えます。



コロムビアレコード川崎工場図  
1931年 日本コロムビア所蔵

# 後期の最前線

8月16日(火)～9月25日(日)

鳥瞰図絵師  
吉田初三郎 長さ約4mのパノラマ絵図 この迫力を見よ！



神奈川県鳥瞰図  
1932年 当館所蔵

【関連行事】□は事前申込制、申込多数の場合は抽選

□ 記念講演会「近代日本における鳥瞰図の系譜」  
8月20日(土) 13時30分～15時30分  
中西僚太郎氏(筑波大学人文社会系 教授)  
会場：当館講堂 定員：50名 受講料：無料(ただし、当日の特別展観覧券が必要) 申込締切：7月26日(火) 必着

□ 連続講座「地図を使った人たち」(全2回)  
7月24日(日) 武田周一郎(当館 学芸員)  
7月31日(日) 損斐洋一氏(東芝産業機器システム株式会社 顧問) 各回13時30分～15時30分 会場：当館講堂  
定員：各回50名(1回ごとのお申込みも受け付けますが、連続講座のため、全2回お申込みの方を優先します。) 受講料：無料(ただし、当日の特別展観覧券が必要) 申込締切：6月28日(火) 必着

□ 連続講座「地図を作った人たち」(全2回)  
9月3日(土) 大澤真理子氏(府中市美術館 学芸員)  
9月10日(土) 岡田直氏(横浜都市発展記念館 主任調査研究員) 各回13時30分～15時30分 会場：当館講堂  
定員：各回50名(1回ごとのお申込みも受け付けますが、連続講座のため、全2回お申込みの方を優先します。) 受講料：無料(ただし、当日の特別展観覧券が必要) 申込締切：8月9日(火) 必着

□ 大人向けワークショップ「デジタル鳥瞰図を作る」  
7月30日(土) 13時00分～16時00分  
新井田秀一(県立生命の星・地球博物館 主任学芸員)  
会場：当館講堂 定員：10名 参加費：無料(ただし、当日の特別展観覧券が必要) 申込締切：7月5日(火) 必着

□ 現地見学会「横浜・関内を歩く」  
9月22日(木) 14時00分～16時00分  
吉崎雅規氏(横浜開港資料館 調査研究員)  
定員：20名 参加費：無料(ただし、当日の特別展観覧券が必要) 申込締切：8月30日(火) 必着

○ 学芸員による展示解説  
7月23日(土)、8月7日(日)・28日(日)、9月18日(日)  
13時30分～14時00分  
参加費：無料(ただし、当日の特別展観覧券が必要)  
※特別展会場内ではなく当館講堂にて実施予定  
※定員50名限定(当日13時受付開始、先着順)です

申込方法：「往復はがき」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・行事名を明記のうえ、当館へお送りください。

または、ホームページの「催し物案内」からお申し込み下さい。1通で複数名(最大4名まで)申し込まれる場合は全員分の氏名を明記してください。(1通で複数の催し物の申込はできません。催し物毎にお申込みください。)

宛先：神奈川県立歴史博物館 企画普及課  
〒231-0006 横浜市中区南仲通5-60

HP：<https://ch.kanagawa-museum.jp/>

※催し物に変更・中止になる場合があります。詳細はホームページをご覧ください。



【次回展示のお知らせ】

特別展  
源頼朝が愛した幻の大寺院  
永福寺と鎌倉御家人  
一荘厳される鎌倉幕府とそのひろがり  
2022年10月15日(土)～12月4日(日)

本展ではスマートフォンアプリによる展示解説も実施します。

